



年頭のごあいさつ

有田川町長 中山 正 隆

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より町政各般にわたるご理解とご協力に対し、心より御礼申し上げます。

昨年は、大きな災害もなく平穏な一年であったかと思っております。一昨年の東日本大震災と台風十二号の被災を考えると、常に防災意識を高め、危機感をもって取り組む体制づくりがいかに大事か痛感しております。

役場内では機構改革を行い、初めての部制を採用しました。つながりの深い複数の課を統括することで、住民サービスが迅速かつ効率よく事務処理が行えるようになったと思っております。

道路網整備なくして町の発展は考えられないと思っております。待望の岩野河バイパスも2月竣工の予定です。国道・県道の整備を強く国・県へ働きかけ、地域の活性化に努めてまいります。

町内の小中学校の耐震化もいよいよ今年度ですべて終わりになります。現在吉備中学校の改築工事中ですが、三月末には完成する予定です。子育て支援と子どもたちが安心して勉学に励むことができる体制づくりに努めます。

また、消防防災拠点である消防庁舎も今年の十一月末完成をめざし、改築工事を進めています。いつも住民の安全・安心を第一に考え、豊かで住みよいまちづくりの実現に向かってより一層の努力をして参ります。

さて、今年の十一月には日本の棚田百選に選ばれている「あらぎ島」を有する本町で、「第十九回全国棚田サミット」が開催されます。サミットは全国の棚田を共有する市町村が集い、先人たちが血と汗のにじむ思いで開いた棚田をいかに守り将来に引き継いでいくか話し合う意義深い大会であります。

サミットを契機に農地保全や商業観光に対する意識の向上と町発展につなげていきたいと考えています。町行政の運営には町民の皆様のご理解とご協力が不可欠であります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成二十五年 新年あいさつ

有田川町議会議長 中山 進

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に対し温かいご支援とご協力を賜っておりますことに心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の日本は、一昨年に起こった東日本大震災から復興へと歩む一年であったと思います。私は、震災で被害を受けた東北地方の町を視察する機会があり、その状況を直に見てまいりましたが、今もまだ震災当時の悲惨な状態のまま残されているところも多くありました。被災した方々の多くもまだ震災前の生活に戻れていない状況でありますので、復興に向けた取り組みを今後もさらに進めていきたいと思っております。

また、年末には衆議院議員総選挙が行われ、前回から3年余りで再び政権が交代するという結果となりました。被災地の復興、原発問題、景気対策、TPP参加問題、外交・安全保障等等、国内外の課題は山積しています。国民の期待を裏切ることなく、これらの課題に真剣に取り組んでいただきたいと思っております。

そのような中で、わが町としては、住民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みを今後も進めていかなければなりません。

今年は、地域の皆様方のかねてからの念願でありました吉備中学校の新校舎と、災害時の防災拠点となる新消防庁舎が完成する予定です。現在工事が着々と進んでおります。また、十一月には第十九回全国棚田（千枚田）サミットが開催される予定です。サミット開催に向けた準備が進められています。これを機会に有田川町のすばらしさをもっと全国にPRし、さらなる活性化が図られるものと期待しています。

私も議会といたしましても、町民の代表としての認識に立ち、皆様方のご意思を町政に反映させるべく、今後も全力を尽くしてまいりたいと思っております。どうか本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、本年が皆様にとりまして明るくすばらしい年となりますよう、また益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。